

第1回 避難訓練

1 日時

4月18日(金) 6校時

2 場所

教室内で一次避難，そして校舎から校庭へ二次避難。

3 想定

授業時間に地震発生，電源喪失そして火災発生。

4 ねらい

- (1) 訓練を通して自他の生命を尊重し，安全に行動し助け合う姿勢を養う。
- (2) 避難経路を確認し，有事の際に備える。



約870名の生徒と教師が迅速かつ冷静に避難経路を確認しながら避難することができた。

防災副読本を使って，事前学習を行った。副読本の使用を通して，生徒達の意識の向上を図ることができた。

5 評価

生徒が，教師の指示に従いきちんと避難することができた。また，避難時の現状として，教員が校舎異常の有無の確認と検索に約6分の時間を有したこと。また，避難指示（二次避難指示）が出された後，避難指示を大声で教員が生徒に伝えながら避難完了（点呼確認終了）までの時間が，約7分40秒かかることなど，長町中として安全を確認する最低限の時間を把握することが出来た。

このことにより，緊急時の放送が使えない状況下で，生徒の安全をいかに確保していくか，その判断が教室にいる教員に改めて求められることが浮き彫りとなった。

確実な点呼を取るのに，多少時間がかかった。スムーズな教員による点呼の取り方，集計も今後の課題として上げられた。

